

2019年度第1四半期（2019年1月～3月）連結決算短信

会社名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所属部	東証第一部
決算期	本決算：年1回（12月） 中間決算：四半期毎
問合わせ先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門田 正行

1. 本国における決算発表日：2019年4月25日（木曜日）

2. 業績

	第1四半期（1月～3月の3ヶ月間）			累計額（1月～3月の3ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,657	百万ドル 5,464	% 3.5	百万ドル 5,657	百万ドル 5,464	% 3.5
税引前当期純利益	百万ドル 1,242	百万ドル 982	% 26.5	百万ドル 1,242	百万ドル 982	% 26.5
当期純利益	百万ドル 928	百万ドル 717	% 29.4	百万ドル 928	百万ドル 717	% 29.4
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.23	ドル 0.92	% 33.7	ドル 1.23	ドル 0.92	% 33.7
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.23	ドル 0.91	% 35.2	ドル 1.23	ドル 0.91	% 35.2

配当金の推移		
	当年度（2019年度）	前年度（2018年度）
第1四半期	0.27 ドル	0.26 ドル
第2四半期		0.26
第3四半期		0.26
第4四半期		0.26
合計	0.27 ドル	1.04 ドル

(注1) 原則として各四半期に決定された配当金である。

(注2) 端数処理のため、合計は計数の総和と一致しない。

* 上記に表示する全ての1株当たりの情報及び配当金には、2018年2月13日に当社の取締役会で決議した株式分割の影響が適宜反映されている。

3. 概況・特記事項・その他
特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック生命保険株式会社
IR サポート室
青山 佳弘 (Tel:03-5931-2779)

Aflac Incorporated は 2019 年度第 1 四半期の業績を発表
2019 年度第 1 四半期の純利益は 9 億 2,800 万ドル
2019 年度の 1 株当たり調整後利益の見通しを確認
2019 年度第 2 四半期現金配当を決定

ジョージア州、コロンバス - 2019 年 4 月 25 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は、本日、2019 年度第 1 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、前年同期の 55 億ドルから 57 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 1,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.91ドル)から 9 億 2,800 万ドル(同 1.23ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には、9,800 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.13 ドル)の税引前資産運用実現損が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1 億 300 万ドル(実現損とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.14ドル)の税引前資産運用実現益が含まれていました。これらの実現益(純額)には、減損及び貸倒引当金の変動に関連する 200 万ドルの損失が含まれていました。また、税引前実現益(実現損とのネット)は、持分証券の公正価値の変動による 5,800 万ドルの利益及び一部のデリバティブ及び外国為替取引からの利益 3,000 万ドルならびに売却及び償

還による利益 1,700 万ドルを含んでいました。当四半期のこれらの当期純利益の調整に係る法人税費用は 2,300 万ドルでした。

当四半期の平均円／ドル為替レート*は、前年同期の 1 ドル 108.05 円から、2.0%円安ドル高の 1 ドル 110.24 円となりました。

当四半期の調整後利益*は、前年同期の 8 億 2,100 万ドルから、8 億 4,900 万ドルとなりました。当四半期の希薄化後 1 株当たり調整後利益*は、主として全般的に強い投資収益及びアフラック(日本)における有利な保険金給付金比率を反映し、6.7%増の 1.12 ドルとなりました。為替レートが円安ドル高になったことにより、当四半期の希薄化後 1 株当たり調整後利益は 0.01ドルの影響を受けました。為替変動の影響を除く希薄化後 1 株当たり調整後利益*は、7.6%増加し 1.13ドルとなりました。

運用資産及び現金・預金合計は、2018 年 3 月 31 日現在の 1,327 億ドルから、2019 年 3 月 31 日現在では 1,314 億ドルとなりました。当四半期、アフラックは 4 億 9,000 万ドル相当(1,020 万株)の自己株式を取得しました。2019 年 3 月 31 日現在、当社の自己株式取得承認枠の残枠は、5,880 万株となっています。

株主持分は、2018 年 3 月 31 日現在が 243 億ドル(1 株当たり 31.31ドル)であったのに対し、2019 年 3 月 31 日現在では 260 億ドル(1 株当たり 34.90ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(純額)は、2018 年 3 月 31 日現在が 52 億ドルであったのに対して、当四半期末では 65 億ドルでした。株主持分に含まれる外貨換算未実現損は、2018 年 3 月 31 日現在が 13 億ドルであったのに対して、当四半期末現在では 18 億ドルでした。当四半期における平均株主資本利益率は、年率換算で 15.0%でした。

その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除く株主持分*は、2018 年 3 月 31 日現在が 206 億ドル(1 株当たり 26.56ドル)であったのに対して、2019 年 3 月 31 日現在は、216 億ドル(1 株当たり 28.89ドル)でした。当四半期の為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率*は、年率換算で 16.0%でした。

アフラック(日本)

円ベースで、アフラック(日本)の当四半期の保険料収入(純額)は、主として短期払商品の払済化により、前年同期比0.8%減の3,504億円となりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、主として米ドル建ての変動利付運用資産からのより高い収益により、5.4%増の671億円となりました。当四半期の円ベースの収益合計は、0.1%増加し4,188億円となりました。当四半期の円ベースの税引前調整後利益は、主としてより高い利回りの米ドル建て運用資産及び第三分野保険の有利な保険金給付金比率により、報告ベースでは3.9%増、為替変動の影響を除くベースでは3.1%増となりました。日本セグメントの税引前調整後利益率は、前年同期が21.1%であったのに対して、当四半期は21.9%でした。

当四半期のドルベースの保険料収入(純額)は、前年同期比2.5%減の32億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、前年同期比3.7%増の6億1,000万ドルとなりました。収益合計は、1.6%減の38億ドルとなりました。税引前調整後利益は、前年同期比2.0%増の8億3,400万ドルとなりました。

当四半期の保障性第一分野保険及び第三分野保険の新契約年換算保険料(販売)は、1.4%減少し184億円となりました。当四半期の販売合計は、2.0%減の188億円(1億7,100万ドル)となりました。

アフラック(米国)

当四半期のアフラック(米国)の保険料収入(純額)は2.4%増加し、15億ドルとなりました。投資収益(純額)は、変動利付の運用資産からのより高い収益により、1.1%増の1億7,700万ドルとなりました。収益合計は2.2%増の16億ドルとなりました。税引前調整後利益は、保険金給付金比率の上昇及び事業費率の上昇により、前年同期比4.2%減の3億2,300万ドルとなりました。当四半期の米国セグメントの税引前調整後利益率は、前年同期の21.0%から19.7%となりました。

当四半期のアフラック(米国)の販売は、1.5%増の3億4,000万ドルとなりました。

全社(アフラック(日本)及びアフラック(米国)を除く)及びその他

当四半期の収益合計は、4,200万ドルの投資収益(純額)及び経費の減少を反映し、前年同期比20.3%増の9,500万ドルとなりました。投資収益(純額)は2,100万ドル増加しましたが、これは、全社の円ヘッジ・プログラムから発生した税引前利益2,000万ドルの恩恵によるものです。税引前調整後利益は、前年同期が4,600万ドルの損失であったのに対して、当四半期は、1,800万ドルの損失でした。

現金配当

取締役会は、2019年度第2四半期支払いの四半期現金配当を1株当たり0.27ドルとすることを決定しました。この現金配当は、2019年5月22日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2019年6月3日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「私は、当社の業績全般について喜ばしく思っています。当社の強い第1四半期の実績は、年間の目標達成に向けて当社を前進させるものとなりました。」

「当社の最大の利益貢献部門であるアフラック(日本)は、当四半期、予想通りの強い財務業績を上げました。主として短期払商品の払済化により、2019年、アフラック(日本)では引き続き保険料収入合計の若干の減少が見込まれます。また、2018年第2四半期に発売し大きな成功を収めたがん保険新商品により、最近では最も大きな第三分野保険の販売額を記録した2018年との比較で、2019年通年の第三分野保険及

び保障性第一分野保険の販売合計は、引き続き、1桁台の低位から半ばの減少が見込まれます。」

「米国での事業については、特に当社の事業基盤(プラットフォーム)、販売及び顧客満足度の向上への投資を継続する中で、アフラック(米国)が顕著な財務実績を上げたことを、喜ばしく思っています。当四半期の販売実績は予想に沿ったものでした。当社は引き続き、アフラック(米国)が2019年も堅調な業績を上げ、保険料収入は2%から3%増となり、販売は安定的な成長を示すものと考えています。」

「当社は引き続き、ご契約者のために強い自己資本比率を維持し、当社の財務力と事業への再投資、配当の増加及び自己株式の取得との間のバランスをとって行きます。また、当社の配当実績は、その強い資本力とキャッシュ・フローに支えられています。当社は引き続き、2019年の自己株式取得が13億ドルから17億ドルの間になるものと考えています。このレンジは、当四半期の実績が示すように、当社の資本活用戦略の下でのより戦術的な展開を可能にするものです。自己株式の取得については、安定した資本状況とその他に強力な選択肢が存在しないことを常に前提としています。同時に当社は、当社の利益に長期的に影響を与える成長戦略と事業の効率化によって、当社のプラットフォームへの周到な投資が不可欠であることを認識しています。」

「ここで、2019年通年の利益目標について改めて申し上げます。第1四半期の当社業績は、経費計上のタイミングによる有利な影響と、当四半期における若干有利な実効税率の影響を受け、本年度が力強いスタートを切ったことを反映するものであり、2018年の加重平均為替レートである1ドル110.39円を前提として、4.10ドルから4.30ドルの間の希薄化後1株当たり調整後利益を安定的に計上するという目標に向けて、当社を軌道に乗せるものです。常にそうであるように、当社のご契約者に対する約束を確実に果たしつつ、1株当たり利益目標達成のため、懸命に努力を重ねています。」

アフラック・インコーポレーテッドについて

アフラック・インコーポレーテッド(ニューヨーク証券取引所のティッカー・シンボル AFL)は、フォーチュン 500 社の 1 社であり、日米の子会社を通じて、5,000 万人以上の方々に保障を提供し、ご契約者が病気や怪我をした時に、給付金を現金で迅速にお支払いすることで、両国において補完保険のリーディング・カンパニーとなっています。60 年以上にわたって、アフラック・インコーポレーテッドの子会社の保険商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。アフラック生命保険株式会社は、日本における医療保険・がん保険の最大手で、4 世帯に 1 世帯がその保険に加入しています。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国において、アフラックは有効な給付請求の審査手続、承認及びご請求者が迅速に現金をお手にできるよう電子的な方法により送金することをわずか 1 営業日で行うことができます。『Ethisphere』誌は、13 年連続でアフラックを「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2018 年、『フォーチュン』誌は、アフラックを 20 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、2019 年、同誌は 18 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも当社を選出しています。「ワン・デイ・ペイ」の詳細及び通常健康保険が保障しない出費にどのようにお役立ていただくかについての情報は、当社のウェブサイトをご覧ください。

「アフラック」は、ここではアメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス及びアメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ ニューヨークを意味しています。

当四半期の業績数値の補足資料(Financial Analysts Briefing (FAB) supplement)は、当社のウェブサイトから入手可能です。

Aflac Incorporated は、当四半期業績報告の電話会議の模様を 2019 年 4 月 26 日(金曜日)午前 9 時 00 分(米国東部標準時間)に当社のウェブサイト上で公開します。

*外国為替及びその財務諸表への影響についての説明、本書において用いられてい

る米国 GAAP 外の財務指標の定義ならびに米国 GAAP 外の財務指標から最も比較可能な米国 GAAP の財務指標への調整については、後述の「米国会計基準 (GAAP) 外の財務指標」をご参照ください。

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書

(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2019	2018	増減率
収益合計	5,657	5,464	3.5%
保険金給付金(純額)	2,967	3,042	-2.5%
新契約費及び事業費合計	1,448	1,440	0.6%
税引前当期純利益	1,242	982	26.5%
法人税等	314	265	
当期純利益	928	717	29.4%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.23	0.92	33.7%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.23	0.91	35.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	751,423	778,550	-3.5%
希薄化後	755,790	783,852	-3.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.27	0.26	3.8%

Aflac Incorporated 要約連結貸借対照表

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

3月31日現在:

	2019	2018	増減率
資産:			
運用資産及び現金・預金合計	131,438	132,671	-0.9%
繰延新契約費	9,892	9,933	-0.4%
その他の資産	4,349	4,752	-8.5%
資産合計	145,679	147,356	-1.1%
負債及び株主持分:			
保険契約準備金	103,680	105,399	-1.6%
社債等	5,900	5,372	9.8%
その他の負債	10,050	12,298	-18.3%
株主持分	26,049	24,287	7.3%
負債及び株主持分合計	145,679	147,356	-1.1%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	746,487	775,757	-3.8%

米国会計基準(GAAP)外の財務指標

本書には、アフラックの米国GAAP外の基準による財務指標である調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益、調整後株主資本利益率、ヘッジ費用/収益の償却額及び調整後純資産額への言及が含まれている。これらの指標は、米国GAAPに沿って計算されていない。これらの指標は、全般的な経済情勢や事象に影響され、あるいは保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連する傾向にあるため、保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していない可能性がある。当社が考える項目を除外したものである。当社経営陣は、アフラックの連結ベースの保険事業の財務業績を評価するにあたっては、調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益及び調整後株主資本利益率を用いている。また、これらの指標を表示することは、アフラックの保険事業に内在する利益の原動力や傾向を理解するに際して、極めて重要であると当社経営陣は確信している。当社は、調整後利益の要素であるヘッジ費用/収益の償却額は、一部の為替変動リスクのヘッジに係る定期的な為替リスク管理費用/収益を計測するものであり、投資収益(純額)の重要な要素であると確信している。当社は、経営のコントロールが及ばない市場動向によって変動するその他の包括(損)益累計額(AOCI)を除外するという点で、調整後純資産額は重要なものであると考えている。当社の米国GAAP外の財務指標の定義及びこれらに最も比較可能な米国GAAPの財務指標との調整については、下記及びこれに続く表に記載されている。

日本円を機能通貨とするアフラック(日本)の規模が大きいため、円/ドル為替レートの変動は当社の報告業績に対して著しい影響を与え得る。円安に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより少ないドル貨で報告される。円高に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより多くのドル貨で報告される。このように、円安は、前年同期との比較において当期の業績を押し下げ、円高は、前年同期との比較において当期の業績を押し上げる効果がある。当社の事業の非常に大きな部分が円で行われており、米国GAAPによる報告の目的のために、これがドルに換金されることはないものの、ドルに換算されることから、為替変動は、米国GAAPに基づく利益、キャッシュ・フロー及び純資産に影響を与える。また、為替レートは経営のコントロール外にあるため、アフラックは、日本円を米ドルに換算することの影響を理解することは重要であると確信している。当期における為替変動の影響を除く調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益及び調整後株主資本利益率は、全て比較の対象となる前年同期における平均円/ドル為替レートを用いて計算されており、円/ドル為替レートの変化のみによってもたらされる変動を消去したものである。平均円/ドル為替レートは、株式会社三菱UFJ銀行が公表する対顧客電信仲値(TTM)に基づいている。

アフラックは、本書に含まれている米国GAAP外の財務指標を以下の通り定義している。

・調整後利益は、調整後収益から保険金給付金及び調整後費用を差引いたものである。収益及び費用に対する調整は、予測不能あるいは経営のコントロールが及ばない一部の項目から構成される。調整後収益は、外国為替のエクスポージャーへの管理戦略及び特定の投資戦略によるデリバティブからの金利キャッシュ・フロー(純額)に係るヘッジ費用/収益の償却額以外の資産運用実現損益を除いた米国GAAPベースの収益合計である。調整後費用は、社債等に係るデリバティブからの金利キャッシュ・フローへの影響を含み、当社の保険事業の通常の業務に関係せずアフラックの基礎となる業績を反映しない非経常的損益ならびにその他の損益を除く、米国GAAPベースの新契約費及び事業費の合計である。これと最も比較可能な米国GAAPの指標は、当期純利益である。

・1株当たり調整後利益(基本あるいは希薄化後)は、当該期間の調整後利益を期中の加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。これと最も比較可能な米国GAAPの指標は、1株当たり当期純利益である。

・為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率は、米国GAAPに基づく当期純利益合計から調整された、円/ドル為替レート変動の影響を除く調整後利益を、AOCIを除く平均株主持分で除したものである。これと最も比較可能な米国GAAPの財務指標は、平均株主資本利益率(ROE)であり、これは当期純利益と平均株主持分を用いて決定される。

・ヘッジ費用/収益の償却額は、一部の為替リスクをヘッジするため為替先物取引を用いることで生じるあるいは認識されるものであり、当社の日本セグメントにおいては費用を、全社(アフラック(日本)及びアフラック(米国)を除く)及びその他セグメントにおいては収益を計上している。これらのヘッジ費用/収益の償却額は、取引開始時の直物為替レートと為替先物取引における約定先物レートとの差により生じ、ヘッジ期間にわたって、定額で認識される。ヘッジ費用/収益の償却額と比較可能な米国GAAPの財務指標はない。

・調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額(株主持分合計)から、米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたその他の包括(損)益累計額(AOCI)を控除したものである。調整後純資産額は、経営のコントロールの及ばない市場の動向によって変動するAOCIを除いていることから、当社はこの指標は重要であると考える。

当期純利益から調整後利益への調整¹
 (単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2019</u>	<u>2018</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	928	717	29.4%
調整後利益への調整項目:			
資産運用実現損(益)	-103	98	
その他及び非経常的損(益)	-	29	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	23	-24	
調整後利益	849	821	3.4%
当期における為替変動の影響 ²	8	非適用	
当期における為替変動の影響を除く調整後利益 ³	857	821	4.4%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.23	0.91	35.2%
調整後利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現損(益)	-0.14	0.13	
その他及び非経常的損(益)	-	0.04	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	0.03	-0.03	
希薄化後1株当たり調整後利益(単位:ドル)	1.12	1.05	6.7%
当期における為替変動の影響 ² (単位:ドル)	0.01	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり調整後利益 ³ (単位:ドル)	1.13	1.05	7.6%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

³当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートを用いて計算されており、これにより、円/ドル為替レートの変化のみによってもたらされる変動を消去している。

米国GAAPに基づく純資産額から調整後純資産額への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日現在:

	<u>2019</u>	<u>2018</u>	<u>増減率</u>
米国GAAPに基づく純資産額	26,049	24,287	
減算:			
外貨換算未実現(損)益	-1,848	-1,303	
保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益	6,535	5,185	
年金債務当期調整額	-206	-197	
その他の包括(損)益累計額合計(AOCI)	4,481	3,685	
調整後純資産額 ²	21,568	20,602	
加算:			
外貨換算未実現(損)益	-1,848	-1,303	
外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額 ³	19,720	19,299	
期末発行済株式数(単位:千株)	746,487	775,757	
1株当たりの米国GAAPに基づく純資産額(単位:ドル)	34.90	31.31	11.5%
減算:			
1株当たりの外貨換算未実現(損)益	-2.48	-1.68	
1株当たりの保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益	8.75	6.68	
1株当たりの年金債務当期調整額	-0.28	-0.25	
1株当たりのその他の包括(損)益累計額合計(AOCI)	6.00	4.75	
1株当たりの調整後純資産額 ²	28.89	26.56	8.8%
加算:			
1株当たりの外貨換算未実現(損)益	-2.48	-1.68	
1株当たりの外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額 ³	26.42	24.88	6.2%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額(株主持分合計)から、米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたその他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いたものである。

³外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額は、調整後純資産額に外貨換算未実現(損)益を加算したものである。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から調整後ROEへの調整¹
(為替変動の影響を除く)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2019</u>	<u>2018</u>
当期純利益 - 米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ²	15.0%	11.7%
外貨換算未実現(損)益を除いた影響	-1.3%	-0.9%
保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益を除いたことによる影響	3.7%	3.2%
年金債務当期調整額を除いたことによる影響	-0.1%	-0.1%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いたことによる影響	2.3%	2.2%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いた米国GAAPに基づくROE	17.3%	13.9%
調整後利益と当期純利益の差異 ³	-1.5%	2.0%
報告された調整後ROE	15.8%	16.0%
減算: 為替変動の影響 ⁴	-0.1%	非適用
為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率(ROE)	16.0%	16.0%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²米国GAAPに基づくROEは、(年換算した)当期純利益を平均株主資本で除して計算されている。

³当期純利益から調整後利益への調整については、別表を参照のこと。

⁴為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の調整後利益の、報告された調整後利益に対する差異である。比較の目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益のみを再計算し、当期における為替変動の影響を消去している。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

為替変動の調整後業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2019年3月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-1.1%	0.2%
投資収益(純額) ⁴	5.6%	6.5%
保険金給付金及び事業費合計	-0.9%	0.5%
調整後利益	3.4%	4.4%
希薄化後1株当たり調整後利益	6.7%	7.6%

¹調整後利益及び希薄化後1株当たり調整後利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用/収益の償却額を減算。

2019年1株当たり調整後利益¹予想²

<u>円/ドル加重平均為替レート</u>	<u>希薄化後 1株当たり調整後利益</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$4.26 - \$4.46	\$ 0.16
105	\$4.18 - \$4.38	\$ 0.08
110.39 ³	\$4.10 - \$4.30	\$ -
115	\$4.03 - \$4.23	\$ -0.07
120	\$3.96 - \$4.16	\$ -0.14

¹ 1株当たり(基本あるいは希薄化後)調整後利益は、米国GAAP外の財務指標であり、当該期間の調整後利益を加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。SEC Regulation S-KのItem 10(e)(1)(i)(B)に示される「不合理な努力」の例外規定により、この財務指標に関して、最も比較可能な米国GAAPの指標に対する定量的な調整計算は示されていない。最も比較可能な米国GAAPの指標、すなわち1株当たり利益に関する予測情報は、不合理な努力なしに得ることはできない。それは、これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有しており、予測のためには不合理な努力を要求されるからであり、当社は、投資家にとって有意でない幅広い範囲の予測計数に帰結すると確信している。この理由から、当社はこうした情報の予想される重要性は低いものと確信している。

² 上表は、全ての四半期を平均為替レートで再計算している。

³ 実際の2018年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が随時言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 従来日本の支社の法的な子会社としての運営
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性

- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 金融市場の安定化を目指す政府の行為
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 当社に適用される税率の変更
- ・ 投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 優秀な募集人、ブローカー、社員及び販売提携先を引きつけ、維持する能力
- ・ 他の金融機関の信用力の低下
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、戦争あるいはその他の軍事行動、テロ行為あるいはその他の暴力行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 内部統制又はコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗



News Release

FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces First Quarter Results,
Reports First Quarter Net Earnings of \$928 Million,
Affirms 2019 Adjusted EPS Outlook,
Declares Second Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. - April 25, 2019 - Aflac Incorporated (NYSE: AFL) today reported its first quarter results.

Total revenues were \$5.7 billion during the first quarter of 2019, compared with \$5.5 billion in the first quarter of 2018. Net earnings were \$928 million, or \$1.23 per diluted share, compared with \$717 million, or \$.91 per diluted share a year ago.

Net earnings in the first quarter of 2019 included pretax net realized investment gains of \$103 million, or \$0.14 per diluted share, compared with pretax net losses of \$98 million, or \$0.13 per diluted share a year ago. Included in those net gains were \$2 million of losses related to impairments and loan loss reserve changes. Pretax net realized gains also included \$58 million in gains from changes in the fair value of equity securities and \$30 million of gains from certain derivatives and foreign currency activities, as well as a \$17 million gain from sales and redemptions. The income tax expense on these net earnings adjustments in the quarter was \$23 million.

The average yen/dollar exchange rate* in the first quarter of 2019 was 110.24, or 2.0% weaker than the average rate of 108.05 in the first quarter of 2018.

Adjusted earnings* in the first quarter were \$849 million, compared with \$821 million in the first quarter of 2018. Adjusted earnings per diluted share* increased 6.7% to \$1.12 in the quarter, largely reflecting overall strong net investment income and Aflac Japan's favorable benefit ratios. The weaker yen/dollar exchange rate impacted adjusted earnings per diluted share by \$0.01. Adjusted earnings per diluted share excluding the impact of foreign currency* increased 7.6% to \$1.13.

Total investments and cash at the end of March 2019 were \$131.4 billion, compared with \$132.7 billion at March 31, 2018. In the first quarter, Aflac repurchased \$490 million, or 10.2 million of its common shares. At the end of March, the company had 58.8 million remaining shares authorized for repurchase.

Shareholders' equity was \$26.0 billion, or \$34.90 per share, at March 31, 2019, compared with \$24.3 billion, or \$31.31 per share, at March 31, 2018. Shareholders' equity at the end of the first quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$6.5 billion, compared with a net unrealized gain of \$5.2 billion at March 31, 2018. Shareholders' equity at the end of the first quarter also included an unrealized foreign currency translation loss of \$1.8 billion, compared with an unrealized foreign currency translation loss of \$1.3 billion at March 31, 2018. The annualized return on average shareholders' equity in the first quarter was 15.0%.

Shareholders' equity excluding AOCI* was \$21.6 billion, or \$28.89 per share at March 31, 2019, compared with \$20.6 billion, or \$26.56 per share, at March 31, 2018. The annualized adjusted return on equity excluding foreign currency impact* in the first quarter was 16.0%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's net premium income was ¥350.4 billion for the quarter, or 0.8% lower than a year ago, mainly due to limited-pay products reaching paid-up status. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 5.4% to ¥67.1 billion, primarily driven by higher income from dollar-denominated floating rate assets. Total revenues in yen increased 0.1% to ¥418.8 billion. Pretax adjusted earnings in yen for the quarter increased 3.9% on a reported basis and 3.1% on a currency-neutral basis, driven largely by higher-yielding U.S. dollar investments and a favorable third sector benefit ratio. The pretax adjusted profit margin for the Japan segment was 21.9%, compared with 21.1% a year ago.

In dollar terms, net premium income decreased 2.5% to \$3.2 billion in the first quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 3.7% to \$610 million. Total revenues declined by 1.6% to \$3.8 billion. Pretax adjusted earnings increased 2.0% to \$834 million.

For the quarter, new annualized premium sales (sales) for first sector protection and third sector products decreased 1.4% to ¥18.4 billion, and total sales decreased 2.0% to ¥18.8 billion, or \$171 million.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. net premium income rose 2.4% to \$1.5 billion in the first quarter. Net investment income increased 1.1% to \$177 million, driven by higher income from floating rate assets. Total revenues were up 2.2% to \$1.6 billion. Pretax adjusted earnings were \$323 million, 4.2% lower than a year ago, driven by an increased benefit ratio and a higher expense ratio in the quarter. The pretax adjusted profit margin for the U.S. segment was 19.7%, compared with 21.0% a year ago.

Aflac U.S. sales increased 1.5% in the quarter to \$340 million.

CORPORATE AND OTHER

For the quarter, total revenue increased 20.3% to \$95 million, reflecting net investment income of \$42 million and lower corporate expenses. Net investment income, which increased \$21 million, benefited from a \$20 million pretax contribution from the company's corporate yen hedging program. Pretax adjusted earnings were a loss of \$18 million, compared with a loss of \$46 million a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the second quarter dividend of \$0.27 per share, payable on June 3, 2019 to shareholders of record at the close of business on May 22, 2019.

OUTLOOK

Commenting on the company's results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "I am pleased with the company's overall performance. Our strong first quarter results advanced our progress toward achieving the company's annual objectives.

"Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial results that were in line with our expectations for the quarter. We continue to anticipate a slight decline in Aflac Japan's total earned premium in 2019 mainly due to limited-pay policies reaching paid-up status. We also continue to anticipate full-year sales of third sector and first sector protection

products to decline in the low-to-mid single digits coming off the highest third sector sales year in recent history with the very successful launch of a new cancer product in the second quarter of 2018.

"Turning to our U.S. operations, we are pleased with the financial performance of Aflac U.S. in the quarter, which is particularly significant because these results also reflect ongoing investment in our platform, distribution and customer experience. Our sales results were in line with our expectations for the quarter. We continue to expect Aflac U.S. to deliver solid results in 2019 with earned premium growth of 2% to 3% and stable sales growth.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and balancing our financial strength with reinvesting in our business, increasing the dividend, and repurchasing shares. The dividend track record is supported by the strength of our capital and cash flows. We continue to anticipate that we'll repurchase in the range of \$1.3 to \$1.7 billion of our shares in 2019, with the range allowing us to be more tactical in our deployment strategy, as we demonstrated this quarter. As is always the case, this assumes stable capital conditions and the absence of compelling alternatives. At the same time, we recognize that prudent investment in our platform is critical to our growth strategy and driving efficiencies that will impact the bottom line for the long term.

"I want to reiterate our 2019 earnings guidance. Our first quarter results reflect a strong start to the year, benefiting from timing of expenses and a modestly favorable effective tax rate in the period, which puts us on track to produce stable adjusted earnings per diluted share of \$4.10 to \$4.30, assuming the 2018 weighted-average exchange rate of 110.39 yen to the dollar. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders."

About Aflac Incorporated

Aflac Incorporated (NYSE: AFL) is a Fortune 500 company, helping provide protection to more than 50 million people through its subsidiaries in Japan and the U.S., where it is a leading supplemental insurer by paying cash fast when policyholders get sick or injured. For more than six decades, insurance policies of Aflac Incorporated's subsidiaries have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. Aflac Life Insurance Japan is the leading provider of medical and cancer insurance in Japan where it insures 1 in 4 households. Through its trailblazing One Day PaySM initiative in the United States, for eligible claims, Aflac can process, approve and electronically send funds to claimants for quick access to cash in just one business day. For 13 consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere as one of the World's Most Ethical Companies. In 2018, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work for in America for the 20th consecutive year and in 2019 Fortune included Aflac on its list of World's Most Admired Companies for the 18th time. To find out more about One Day PaySM and learn how to get help with expenses health insurance doesn't cover, get to know us at aflac.com.

Aflac herein means American Family Life Assurance Company of Columbus and American Family Life Assurance Company of New York.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (ET) on Friday, April 26, 2019.

*See Non-U.S. GAAP Financial Measures section for an explanation of foreign exchange and its impact on the financial statements and definitions of the non-U.S. GAAP financial measures used in this earnings release, as well as a reconciliation of such non-U.S. GAAP financial measures to the most comparable U.S. GAAP financial measures.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	2019	2018	% Change
Total revenues	\$ 5,657	\$ 5,464	3.5 %
Benefits and claims, net	2,967	3,042	(2.5)
Total acquisition and operating expenses	1,448	1,440	0.6
Earnings before income taxes	1,242	982	26.5
Income taxes	314	265	
Net earnings	\$ 928	\$ 717	29.4 %
Net earnings per share – basic	\$ 1.23	\$ 0.92	33.7 %
Net earnings per share – diluted	1.23	0.91	35.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	751,423	778,550	(3.5)%
Diluted	755,790	783,852	(3.6)
Dividends paid per share	\$ 0.27	\$ 0.26	3.8 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

MARCH 31,	2019	2018	% Change
Assets:			
Total investments and cash	\$ 131,438	\$ 132,671	(0.9)%
Deferred policy acquisition costs	9,892	9,933	(0.4)
Other assets	4,349	4,752	(8.5)
Total assets	\$ 145,679	\$ 147,356	(1.1)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 103,680	\$ 105,399	(1.6)%
Notes payable	5,900	5,372	9.8
Other liabilities	10,050	12,298	(18.3)
Shareholders' equity	26,049	24,287	7.3
Total liabilities and shareholders' equity	\$ 145,679	\$ 147,356	(1.1)%
Shares outstanding at end of period (000)	746,487	775,757	(3.8)%

NON-U.S. GAAP FINANCIAL MEASURES

This earnings release includes references to Aflac's non-U.S. GAAP financial measures, adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, adjusted return on equity, amortized hedge costs/income, and adjusted book value. These measures are not calculated in accordance with U.S. GAAP. The measures exclude items that the company believes may obscure the underlying fundamentals and trends in insurance operations because they tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with insurance operations. Management uses adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, and adjusted return on equity to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations on a consolidated basis and believes that a presentation of these measures is vitally important to an understanding of the underlying profitability drivers and trends of Aflac's insurance business. The company believes that amortized hedge costs/income, which are a component of adjusted earnings, measure the periodic currency risk management costs/income related to hedging certain foreign currency exchange risks and are an important component of net investment income. The company considers adjusted book value important as it excludes accumulated other comprehensive income (AOCI), which fluctuates due to market movements that are outside management's control. Definitions of the company's non-U.S. GAAP financial measures and reconciliations to the most comparable U.S. GAAP measures are provided below and in the following schedules.

Due to the size of Aflac Japan, where the functional currency is the Japanese yen, fluctuations in the yen/dollar exchange rate can have a significant effect on reported results. In periods when the yen weakens, translating yen into dollars results in fewer dollars being reported. When the yen strengthens, translating yen into dollars results in more dollars being reported. Consequently, yen weakening has the effect of suppressing current period results in relation to the comparable prior period, while yen strengthening has the effect of magnifying current period results in relation to the comparable prior period. A significant portion of the company's business is conducted in yen and never converted into dollars but translated into dollars for U.S. GAAP reporting purposes, which results in foreign currency impact to earnings, cash flows and book value on a U.S. GAAP basis. Because foreign exchange rates are outside of management's control, Aflac believes it is important to understand the impact of translating Japanese yen into U.S. dollars. Adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, and adjusted return on equity, all excluding current period foreign currency impact, are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior year period, which eliminates fluctuations driven solely by yen-to-dollar currency rate changes. The average yen/dollar exchange rate is based on the published MUFG Bank, Ltd. telegraphic transfer middle rate (TTM).

Aflac defines the non-U.S. GAAP financial measures included in this earnings release as follows:

- Adjusted earnings are adjusted revenues less benefits and adjusted expenses. The adjustments to both revenues and expenses account for certain items that cannot be predicted or that are outside management's control. Adjusted revenues are U.S. GAAP total revenues excluding realized investment gains and losses, except for amortized hedge costs/income related to foreign currency exposure management strategies and net interest cash flows from derivatives associated with certain investment strategies. Adjusted expenses are U.S. GAAP total acquisition and operating expenses including the impact of interest cash flows from derivatives associated with notes payable but excluding any nonrecurring or other items not associated with the normal course of the company's insurance operations and that do not reflect Aflac's underlying business performance. The most comparable U.S. GAAP measure is net earnings.
- Adjusted earnings per share (basic or diluted) are the adjusted earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or diluted) for the period presented. The most comparable U.S. GAAP measure is net earnings per share.
- Adjusted return on equity excluding foreign currency impact is calculated using adjusted earnings excluding the impact of the yen/dollar exchange rate, as reconciled with total U.S. GAAP net earnings, divided by average shareholders' equity, excluding AOCI. The most comparable U.S. GAAP financial measure is return on average equity (ROE) as determined using net earnings and average total shareholders' equity.
- Amortized hedge costs/income represent costs/income incurred or recognized in using foreign currency forward contracts to hedge certain foreign exchange risks in the company's Japan segment (costs) or in the Corporate and Other segment (income). These amortized hedge costs/income are derived from the difference between the foreign currency spot rate at time

of trade inception and the contractual foreign currency forward rate, recognized on a straight line basis over the term of the hedge. There is no comparable U.S. GAAP financial measure for amortized hedge costs/income.

- Adjusted book value is the U.S. GAAP book value (representing total shareholders' equity), less AOCI as recorded on the U.S. GAAP balance sheet. The company considers adjusted book value important as it excludes AOCI, which fluctuates due to market movements that are outside management's control.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO ADJUSTED EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2019</u>	<u>2018</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 928	\$ 717	29.4%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(103)	98	
Other and non-recurring (income) loss	—	29	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	23	(24)	
Adjusted earnings	849	821	3.4%
Current period foreign currency impact ²	8	N/A	
Adjusted earnings excluding current period foreign currency impact ³	\$ 857	\$ 821	4.4%
Net earnings per diluted share	\$ 1.23	\$ 0.91	35.2%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(0.14)	0.13	
Other and non-recurring (income) loss	—	0.04	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	0.03	(0.03)	
Adjusted earnings per diluted share	1.12	1.05	6.7%
Current period foreign currency impact ²	0.01	N/A	
Adjusted earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ³	\$ 1.13	\$ 1.05	7.6%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

³ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates fluctuations driven solely by yen-to-dollar currency rate changes.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP BOOK VALUE TO ADJUSTED BOOK VALUE ¹
(UNAUDITED - IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

MARCH 31,	2019	2018	% Change
U.S. GAAP book value	\$ 26,049	\$ 24,287	
Less:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses)	(1,848)	(1,303)	
Unrealized gains (losses) on securities and derivatives	6,535	5,185	
Pension liability adjustment	(206)	(197)	
Total AOCI	4,481	3,685	
Adjusted book value ²	\$ 21,568	\$ 20,602	
Add:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses)	(1,848)	(1,303)	
Adjusted book value including unrealized foreign currency translation gains (losses) ³	\$ 19,720	\$ 19,299	
Number of outstanding shares at end of period (000)	746,487	775,757	
U.S. GAAP book value per common share	\$ 34.90	\$ 31.31	11.5%
Less:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses) per common share	(2.48)	(1.68)	
Unrealized gains (losses) on securities and derivatives per common share	8.75	6.68	
Pension liability adjustment per common share	(0.28)	(0.25)	
Total AOCI per common share	6.00	4.75	
Adjusted book value per common share ²	\$ 28.89	\$ 26.56	8.8%
Add:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses) per common share	(2.48)	(1.68)	
Adjusted book value including foreign currency translation gains (losses) per common share ³	\$ 26.42	\$ 24.88	6.2%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² Adjusted book value is the U.S. GAAP book value (representing total shareholder's equity), excluding AOCI (as recorded on the U.S. GAAP balance sheet).

³ Adjusted book value including unrealized foreign currency translation gains (losses) is adjusted book value plus unrealized foreign currency translation gains (losses).

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO ADJUSTED ROE ¹**(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)**

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	2019	2018
Net earnings - U.S. GAAP ROE ²	15.0%	11.7%
Impact of excluding unrealized foreign currency translation gains (losses)	(1.3)	(0.9)
Impact of excluding unrealized gains (losses) on securities and derivatives	3.7	3.2
Impact of excluding pension liability adjustment	(0.1)	(0.1)
Impact of excluding AOCI	2.3	2.2
U.S. GAAP ROE - less AOCI	17.3	13.9
Differences between adjusted earnings and net earnings ³	(1.5)	2.0
Adjusted ROE - reported	15.8	16.0
Less: Impact of foreign currency ⁴	(0.1)	N/A
Adjusted ROE, excluding impact of foreign currency	16.0	16.0

¹ Amounts presented may not foot due to rounding.

² U.S. GAAP ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

³ See separate reconciliation of net income to adjusted earnings.

⁴ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated adjusted earnings compared to reported adjusted earnings. For comparative purposes, only current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON ADJUSTED RESULTS¹

(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31, 2019	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Net premium income ³	(1.1)%	0.2%
Net investment income ⁴	5.6	6.5
Total benefits and expenses	(0.9)	0.5
Adjusted earnings	3.4	4.4
Adjusted earnings per diluted share	6.7	7.6

¹ Refer to previously defined adjusted earnings and adjusted earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs/income on foreign investments

2019 ADJUSTED EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS²

Weighted-Average Yen/Dollar Exchange Rate	Adjusted Earnings Per Diluted Share		Foreign Currency Impact	
100	\$ 4.26	-	\$ 4.46	\$ 0.16
105	4.18	-	4.38	0.08
110.39 ³	4.10	-	4.30	-
115	4.03	-	4.23	(0.07)
120	3.96	-	4.16	(0.14)

¹ A non-U.S. GAAP financial measure, adjusted earnings per share (basic or diluted) are the adjusted earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or diluted) for the period presented. In reliance on the “unreasonable efforts” exception in Item 10(e)(1)(i)(B) of SEC Regulation S-K, a quantitative reconciliation to the most comparable U.S. GAAP measure is not provided for this financial measure. Forward-looking information with regard to the most comparable U.S. GAAP financial measure, earnings per share, is not available without unreasonable effort. This is due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, which would require an unreasonable effort to forecast and we believe would result in such a broad range of projected values that would not be meaningful to investors. For this reason, we believe that the probable significance of such information is low.

² Table recasts all quarters to the average exchange rate.

³ Actual 2018 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a “safe harbor” to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. The company desires to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC). Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as “expect,” “anticipate,” “believe,” “goal,” “objective,” “may,” “should,” “estimate,” “intends,” “projects,” “will,” “assumes,” “potential,” “target,” “outlook” or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements.

The company cautions readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; operation of the former Japan branch as a legal subsidiary; limited availability of acceptable yen-denominated investments; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; ongoing changes in the Company’s industry; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; changes in tax rates applicable to the company; defaults and credit downgrades of investments; ability to attract and retain qualified sales associates, brokers, employees, and distribution partners; decline in creditworthiness of other financial institutions; subsidiaries’ ability to pay dividends to Aflac Incorporated; decreases in the Company’s financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; concentration of the Company’s investments in any particular single-issuer or sector; differing judgments applied to investment valuations; ability to effectively manage key executive succession; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on the Company’s investments; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, war or other military action, terrorism or other acts of violence, and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; loss of consumer trust resulting from events external to the Company’s operations; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; level and outcome of litigation; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact - David A. Young, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or dyoung@aflac.com

Media contact - Catherine H. Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com